

SHOSEN



## Contents

特集1 コロナ禍における学生達の取り組み … 2~3

特集2 「非認知能力」に焦点を当てた  
中学部入試「プログラミング」… 4

● 2022年度 学園イベント情報 … 5~7

● 学園各部報告 … 8~10

● 小田急線相模大野駅に相模女子大学の  
副駅名看板を掲出しました … 11

● 同窓会だより／マーガレット募金 … 12



見つめる人になる。見つける人になる。



相模女子大学

## 特集1

# 【社会貢献活動】

# コロナ禍における学生達の取り組み

「コロナ禍で現地への訪問が叶わない中、学生達はオンラインなどの様々な工夫をし、地域や企業との交流を続けて参りました。これまでのコロナ禍ならではの主な活動をご紹介します!」

## 地域との協働

### ◆福島県本宮市

学内農園「マーガレット農園」で活動をスタートし、本宮市の農家と連携することで、本宮市で育てられる農作物と同じ品種を育て、育ちの違いを学びつつ、農作物を育てる大変さや楽しさを経験しています。また、本宮市の方と一緒にオンライン料理教室を開催し、郷土料理の調理を通して、本宮市の食文化を学ぶとともに、地域の方との交流を深めながら、その魅力を発信しています。



### ◆新潟県佐渡市

佐渡市の中学生と学生がオンラインで繋がり、中学生が演じる佐渡の伝統芸能「文弥人形」を鑑賞し、芸能や文化について学びながら、現地の方々との交流を深めました。また、この経験を通して学んだ見聞を活かし、一般財団法人佐渡文化財団主催のイベントにて司会進行の補助を務めました。そのほか、Instagram及びTwitter運用を活性化させ、学生視点から見た佐渡市の魅力や活動の様子を発信しています。



### ◆群馬県富岡市

富岡市の方々と学生がオンラインで繋がり、富岡市の歴史や文化のお話を伺ったり、地元の郷土料理おつきこみの魅力を発信する学生団体「おつきりんピック宣伝部」による富岡市クイズが開催されたりする活動を通じて地域についての理解を深めました。



### ◆三重県熊野市

熊野市の方々と学生がオンラインで相互の繋がりを築く場を設けたり、学生プロジェクト団体「丸山千枚田魅力発信プロジェクト」の学生が熊野市の紹介動画を作成したりするなど、オンラインによる交流活動の推進を図っています。



### ◆岩手県大船渡市

大船渡市の市の花である「椿」を題材に制作した紙芝居「おおふなトンたんじょうもの」がたり」を相模原市の印刷会社と連携して製本化し、同市に寄贈しました。寄贈の際は、大船渡市長と学生がオンラインで繋がり、贈呈式を実施しました。贈呈した紙芝居は、市内の保育施設や市立図書館にて子どもたちへの読み聞かせに活用されています。



### ◆福岡県糸島市

2020年度および2021年度は、「これから女性のはたらき方」をテーマとしたインタビューをオンラインにて行い、多様なバックグラウンドを持つ糸島市在住の方々との交流を深めました。2021年度においては、学生視点から見た糸島市の魅力発信を目的として Instagram のアカウントを開設し、運用を開始しました。また、過去のプロジェクト参加者を招いてオンライン交流会を実施。現役参加学生と活動を引退した在学生の親睦を深めることを目的に、活動を通して学んだことや印象に残っているエピソードなどについて、ざっくばらんに語り合いました。



## 企業等との協働

### ◆さがじよの梅酒「翠想(すいそう)」

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、2020年度の梅酒製造は中止となりましたが、2021年度は感染症対策を講じた上で学内での梅の収穫・ラベルデザインの作成に学生が携わり、梅酒を製造しました。



2021年度梅酒「翠想」

### ◆ノジマステラ神奈川相模原

コロナ禍における活動として、「家族みんなで使えるエコバッグ」をテーマにしたグッズのデザインコンテストを、オンラインにより実施したところ、20件の応募がありました。審査により採用されたデザインは商品化され、公式グッズとしてノジマステラ神奈川相模原の通販サイトにて販売されています。

健康栄養学科  
3年生(当時) 考案



## ◆株式会社東京ポンパドゥル

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により家で過ごす日が増える中、「家族に食べてもらいたいパン」をテーマにしたオリジナルパンレシピコンテストを、オンラインにより実施しました。審査により採用されたレシピは商品化され、町田市内店舗にて販売されました。



プティ・ボヌール  
管理栄養学科1年(当時)

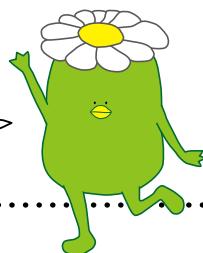


4種のちぎりパン  
管理栄養学科2年(当時)



バジルチキンサンド  
高等部2年(当時)

コロナ禍でも  
様々な交流が  
続いているがっば！



## 地域・企業等との協働

### ◆神奈川県×カゴメ株式会社

「野菜がとれるおやつ・スイーツレンピコンテスト」を、オンラインにより実施しました。なお、実施に際しては、コンテストへの応募を検討している学生へ向けて、JA相模原市より県央産野菜を提供いたしました。



過去のコンテスト入賞作品

### ◆都内の小学校× 相模原市印刷広告協同組合 (電子回路ペン体験講座プロジェクト)

東京都大田区の小学生を対象に、「電子回路が書けるペン」を使った講座を、オンラインにより実施しました。また、2021年度においては、学生団体「電子回路ペン体験講座プロジェクト」の学生が、当プロジェクトの魅力をPRし新たなメンバーを募ることを目的に、在学生を対象とした電子回路ペン体験講座を実施しました。

## 特集2

# 「非認知能力」に焦点を当てた中学部入試「プログラミング」

中学部では、「プログラミング入試」が導入され4年が経ちました。これまで一般的に行われてきた入試と異なる新型入試として、中学受験業界でも注目されています。プログラミング入試と聞くと、プログラミングの技術が重視される入試に思われるかもしれませんが、実は少し違います。従来の入試では測りきれない「非認知能力」に焦点を当てた中学部の入試についてご紹介します。

「非認知能力」とは、簡単に言うと点数では測りにくい「生きていくために必要な能力」のことです。本校では、コミュニケーション能力や論理的思考力、主体性や共感力などがそれにあたると位置づけています。



実習では試行錯誤を繰り返します

### 導入授業



プログラミング入試の最初は、試験で使用する車型ロボットのプログラミング方法についての導入授業が行われます。

講師の先生から、約30分間の導入授業が行われ、基本操作としてアームの動かし方、ターンの方法、センサーの活用方法など、その後の実習に必要なポイントが解説されます。受験生たちは先生の説明を聞きながら、ロボットプログラミングの方法を理解していくことが求められます。講義の途中には動作確認として、手元のロボットをプログラミングで動かすワークも用意されています。実際にロボットが動くと、思わず笑顔で顔を見合わす受験生たちも見られます。

### プログラミング実習

入学試験というと、席にじっと座つて取り組むものと想像すると思いますが、プログラミング入試はそのような試験ではありません。試験中でも水分補給やトイレは自由です。緊張しがちな入学試験ですが、試験会場には穏やかな音楽も流れています。本来持っている実力を発揮してもらうための空間づくりも行っています。試験は、①導入授業（約30分）、②プログラミング実習（70分）、③プレゼンテーション（20分）、④基礎計算力テスト（20分）という時間配分です。

導入授業の後は、いよいよメインパートであるプログラミング実習になります。2022年度の実習では「提示された条件をクリアするプログラムを作る」という課題となりました。受験生の前の長机の上に、

### 評価基準はアドミッションポリシーに基づくルーブリック評価

このような受験生の創意工夫や試行錯誤は、試験官である複数の先生が見ていています。受験生への評価は、中学部が求める生徒像（アドミッションポリシー）を突き詰めて練られたルーブリックに基づいて判断されます。単にプログラミング能力の優劣だけではなく、「論理的思考力」「発想力」「ねばり強さ」といった、筆記試験では測りきることができない「非認知能力」が重要な評価点になっているのです。

中学部・高等部では、忍耐強く頑張れるといった姿勢こそが、学校生活を送るうえで大切なことであると捉えおり、実際にプログラミング入試で入学した生徒たちはクラスの中でも存在感を發揮し、探究活動などでも活躍できています。この考え方は、当然入学後も同様です。中学部・高等部ではこれからも「見えない学力（非認知能力）に支えられた見える学力はホンモノ」を合言葉に、すべての教育活動をデザインしていきます。

# 2022年度 学園イベント情報

相模女子大学  
相模女子大学短期大学部

告知！

## 大学の学び体験

高校1・2年生(女子)対象

この夏、高校1・2年生を対象に「大学の学び体験」を実施します！高校生の皆さんか、大学の学びをいち早く体験できる企画で、学科ごとのゼミや実習を体験できます。大学の教員や、学科の先輩と関わることのできる貴重な機会です。ぜひ皆様のご参加をお待ちしております！

\*内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。



### 主な体験内容

社会貢献活動体験、ゼミ体験または実習体験、学科の先輩とのフリートーク 等

### 開催日時

午前の部 10:00 開始 → 12:20 終了

午後の部 14:00 開始 → 16:20 終了

### 2022年8月4日(木)

**実施学科** 日本語日本文学科、子ども教育学科、生活デザイン学科、社会マネジメント学科、健康栄養学科

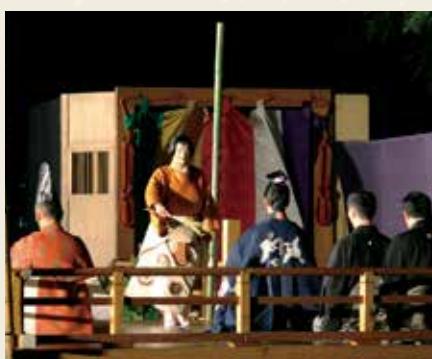
### 2022年8月5日(金)

**実施学科** 英語文化コミュニケーション学科、メディア情報学科、人間心理学科、管理栄養学科、食物栄養学科

\*詳細は大学HPにてご確認ください。



## 第34回 相模原薪能



日程：8月20日(土)

開場：16時15分

開演：17時00分

終演：19時00分(予定)

場所：相模女子大学グリーンホール(相模原市文化会館)大ホール

主催：公益財団法人相模原市民文化財団・

学校法人相模女子大学・相模原市

詳細は相模女子大学グリーンホール HP にて公開予定

<https://hall-net.or.jp/01greenhall/>

# ●オープンキャンパス・学校説明会

大学ではオープンキャンパスや入試説明会、併設各部では学校説明会や体験授業など、今後開催予定の学園イベント情報を一挙ご紹介!事前予約制のイベントもありますので、詳細は各部ホームページでご確認の上、お早めにお申し込みください!

**大学院 大学 短期大学部** **※HPにて要予約**



## ●相生祭

- ・11月3日(木・祝)、11月4日(金)

## ●オープンキャンパス ※

- ・7月31日(日)10時～15時
- ・8月21日(日)10時～15時
- ・9月18日(日)10時～15時
- ・11月27日(日)12時～15時
- ・3月19日(日)12時～16時

学科説明 / 体験授業 / 入試制度説明 / 各種個別相談 / キャンパスツアーなど

\*開催日により上記内容は異なります。また、日程・開催時間・実施方法、事前予約の有無等が変更になる場合があります。

事前に HP で最新情報をご確認ください。

## ●ミニオープンキャンパス ※

- ・10月8日(土)14時～16時

## ●キャンパス見学会 & 入試説明会 ※

- ・12月10日(土)14時～16時

大学・短期大学部の入試に関する説明のほか、個別相談、施設見学などができるイベントです。

\*日程・実施方法、事前予約の有無等が変更になる場合があります。事前に HP で最新情報をご確認ください。

## ●WEB オープンキャンパス

自宅にいながら大学・短期大学部の学びの内容を理解できる  
WEB オープンキャンパスを開設しています。



WEB オープンキャンパス詳しくはこちら→



[お問合せ] 相模女子大学・相模女子大学短期大学部大学事務部 入試課

●詳細は HP をご覧ください。 [www.sagai-wu.ac.jp](http://www.sagai-wu.ac.jp)

フリーダイヤル：0120-816-332 TEL：042-749-5533 FAX：042-742-1732

(平日 9 時～17 時、土曜日 9 時～12 時 30 分) Mail：[kouhou@isc.sagami-wu.ac.jp](mailto:kouhou@isc.sagami-wu.ac.jp)

**高等部**

**※HPにて要予約**



## ●個別学校案内 ※

- ・7月30日(土)～8月27日(土)、平日9時30分～15時／土曜日9時30分～12時30分

(申込期間：7月11日(月)～希望日前日の18時まで)

## ●学校説明会 ※

- ・10月 8日(土)14時～16時(申込期間：9月 8日(木)～10月 7日(金))
- ・11月 26日(土)14時～16時(申込期間：10月 26日(水)～11月 25日(金))
- ・12月 3日(土)14時～16時(申込期間：10月 26日(水)～12月 2日(金))

## ●入試個別相談会(申込期間：11月29日(火)～各相談日の2日前まで) ※

- ・12月6日(火)16時～19時
- ・12月7日(水)16時～19時
- ・12月8日(木)16時～19時

## ●公開行事

【相生祭(文化祭)】11月3日(木・祝)、11月4日(金)

## ●WEB オープンスクール

WEB 学校説明会でサガジョの魅力を発信しています。

WEB  
オープンスクール  
詳しくはこちら→



高等部  
学校説明会  
公開行事  
詳しくはこちら→



[お問合せ]

相模女子大学高等部

TEL：042-742-1442 FAX：042-742-1441 (平日 9 時～17 時、土曜日 9 時～12 時 30 分)

Mail：[kou@mail2.sagami-wu.ac.jp](mailto:kou@mail2.sagami-wu.ac.jp)



※予定は変更になる場合があります。事前に各部HPにて最新情報をご確認下さい。

## 中 学 部

※HPにて要予約

### ● プチセツ (初めての方のための説明会) ※

- ・ 9月14日 (水) 10時～11時
- ・ 11月16日 (水) 10時～11時
- ・ 1月13日 (金) 10時～11時

### ● プログラミング体験会 [小学4、5、6年生対象] ※

- ・ 9月17日 (土) 9時30分～11時30分
- ・ 10月15日 (土) 9時30分～11時30分

### ●学校説明会 ※

- ・ 10月1日 (土) 9時30分～11時30分

### ●ナイト説明会 (初めての方のための説明会) \*予約不要

会場：学校HPでご確認ください。

- ・ 10月14日 (金) 19時～20時 11月16日 (水) 19時～20時
- ・ 12月16日 (金) 19時～20時 1月20日 (金) 19時～20時

[お問合せ]

相模女子大学中学部

TEL : 042-742-1442 FAX : 042-742-1441 (平日9時～17時、土曜日9時～12時30分)

Mail : chu@mail2.sagami-wu.ac.jp

### ●プログラミング入試体験会 [小学6年生対象] ※

- ・ 11月19日 (土) 9時30分～11時30分
- ・ 12月10日 (土) 9時30分～11時30分
- ・ 1月7日 (土) 9時30分～11時30分

### ●適性検査型入試体験&説明会 [小学6年生対象] ※

- ・ 9月3日 (土) 14時～16時
- ・ 11月19日 (土) 14時～16時
- ・ 1月7日 (土) 14時～16時

### ●過去問解説会 [小学6年生対象] ※

- ・ 12月3日 (土) 9時30分～12時

中学部  
学校説明会  
公開行事  
詳しくはこちら  
↓



### ●公開行事

【相生祭（文化祭）】

11月3日 (木・祝)、11月4日 (金)

## 小 学 部

※HPにて要予約

### ●オープンスクール ※

- ・ 7月24日 (日) 9時30分～11時30分 \*予定

### ●ナイト説明会 ※

- ・ 7月25日 (月) 18時～19時

### ●ミニオープンスクール ※

- ・ 8月20日 (土)  
①9時～9時40分 ②10時10分～10時50分 ③11時20分～12時
- ・ 3月25日 (土)  
①9時～9時40分 ②10時10分～10時50分 ③11時20分～12時

### ●学校説明会 ※

- ・ 9月2日 (金) 9時20分～12時
- ・ 9月18日 (日) 10時10分～11時40分 \*予定

[お問合せ]

相模女子大学小学部

TEL : 042-742-1444 FAX : 042-742-1429 (平日9時～17時) Mail : sho@mail2.sagami-wu.ac.jp

### ●学校説明会 \*次年度以降受験者向け ※

- ・ 11月28日 (月) 9時20分～12時

### ●公開行事 (予約不要) \*予約に変更になる場合あり

【相生祭】11月3日 (木・祝)、11月4日 (金)

鼓笛パレード・劇や合唱の発表会等

【English Performance Festival】12月22日 (木) 午前中 \*予定

【造形展】2月11日 (土・祝) 9時～15時

\*イベント予約・詳細は、HP「イベント情報」にてご確認ください。

\*最新情報をメールで受信することも可能です。

\*オンラインの個別相談会や個別の学校見学も順次受け付けております。

イベント情報→



最新情報

メール配信サービス→



## 幼 稚 部

※電話にて要予約

### ●こんにちは会 ※ (当日受付も可)

9月21日 (水)、10月5日 (水)、11月9日 (水)、12月14日 (水)、  
1月18日 (水)、2月15日 (水)、3月1日 (水)

【時間】10時～11時 \*受付開始9時40分

幼稚部を開放し、未就園児と保護者の方にお友達と楽しんでいただく交流の会です。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の為、事前予約制となります。費用は不要です。当日は上履きをご用意ください。(子どもは洗った外靴、保護者はスリッパでも可)。活動しやすい服装でお願いします。

[お問合せ]

認定こども園相模女子大学幼稚部 TEL : 042-742-1445 FAX : 042-742-1431

### ●認定こども園 相模女子大学幼稚部

#### 入園説明会 ※ (当日受付も可)

- ・ 9月8日 (木) 10時～11時
- ・ 10月26日 (水) 10時～11時

### ●入園希望者対象個別入園相談会 ※

- ・ 9月13日 (火)、14日 (水)、15日 (木)  
\*10時～16時の間で1人30分程度

### ●公開行事 (予約不要)

【運動遊びを楽しむ会】11月19日 (土)

# 学園各部 報告

学園

**風間誠史理事長らが帝国女子専門学校跡地にある碑を訪ね、戦災犠牲者を慰靈しました**



「帝国女子専門学校」の跡地である「大塚発祥の地」の碑を訪問



講演の様子

（食物栄養学科・深作）

**【栄養士入門講座】に3名の卒業生を講師としてお招きし、講演をしていただきました**

大学院・大学・短期大学部

原市の旧陸軍通信学校跡地に移転し、相模女子大学として発展しました。この戦災から77年がたち、この地を訪ね、犠牲になられた方々に哀悼の意を捧げました。

（総務課）



田植え作業の様子

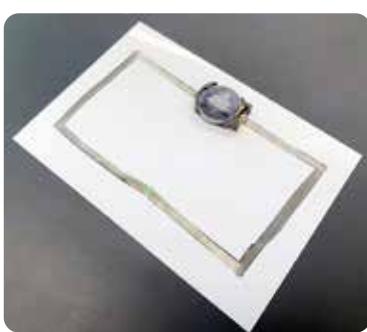
5月21日（土）～5月22日（日）の2日間、「丸山千枚田魅力発信プロジェクト」の学生と教職員が三重県熊野市を訪問し、棚田・丸山千枚田の田植え活動に参加しました。山の斜面に1300枚もの水田が連なる丸山千枚田では、農家の高齢化などにより20年以上前からオーナー制度が取り入れられていて、本学もオーナーとして保存活動に協力しています。

田植え活動のほかに、日本最古の神社である「花の窟（いわや）神社」や岸壁が美しい「鬼ヶ城」等の世界遺産を訪問したり、熊野市農林業振興課職員や地域の方々と打ち合わせを行ったり、千枚田の歴史や文化についてご講話頂いたほか

今年度の活動計画について意見交換を行いました。次回は、今回植えた苗を収穫するために9月の「稲刈りの集い」に訪問する予定です。

（連携教育推進課）

三重県熊野市  
**棚田・丸山千枚田にて田植え作業を行いました**



電子回路ペンを利用してLEDライトを点灯

（連携教育推進課）

（連携教育推進課）

5月30日（月）、子ども教育学科の専門科目「教育内容（理科）」にて、学生が主体となつて活動している「電子回路ペン体験講座プロジェクト」が、電気を流すインクが入った「電子回路ペン」について実験を体験してもらいました。



授業の様子

受講学生には、電子回路ペン開発の背景や、プロジェクト活動での活用事例についてお話しした後、実際に電子回路ペ็นを使ってLEDライトを点灯させる実験を体験してもらいました。

このプロジェクトは、相模原市印刷広告協同組合と協働して活動を行つておらず、電気を流すインクが入った「電子回路ペン」を使って、小学生に理科の楽しさ、面白さといった魅力を伝えるため近隣の小学校に出前授業を行つています。

**電子回路ペン体験講座プロジェクト**

4月13日（水）、風間誠史理事長をはじめ、田中百子同窓会長、同窓生が本学の前身である「帝国女子専門学校」の跡地（東京都文京区大塚）に建てられた「大塚発祥の地」の碑を訪れ、戦災犠牲者を慰靈しました。

1945年4月13日夜半から14日未明にかけての大空襲により、帝国女子専門学校の校舎と学寮は全焼し、学生3名・寮母1名が犠牲となりました。当時の田中義能校長は「校舎は焼けても、学校は焼けない。学校には永遠の命がある。」と教職員や学生を励まし、間もなく拓殖大学の一部を借りて授業を再開しました。その後、現在の相模

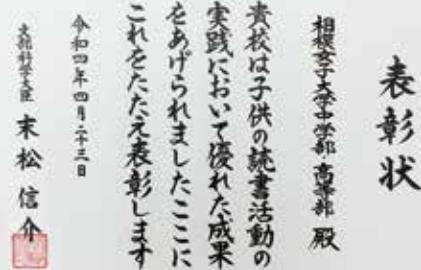
## 中学部・高等部

**【図書館】文部科学大臣表彰受賞  
令和4年度子どもの読書活動優秀実践校**

図書委員と図書館が中心となり、読書活動をはじめ様々な取り組みを実施してきたことが「文部科学大臣表彰」受賞につながりました。

中高合同で行われる図書委員活動では、学級文庫の選書やPOP作成、ティマ展示、ブックトーク、広報誌の発行などを行い、学校全体の読書活動を推進しています。

活動は校内だけではありません。近隣の相模大野図書館・公立学校と年に1度「連携事業」を実施。また、学園連携を生かした「高校生による園児への読み聞かせ」は、地域の読み聞かせボランティアの方が高校生に指導し、併設の幼稚園児に読み聞かせを行う取り組みです。2021年度より開始し、10年目の節目



子供の読書活動優秀実践校 賞状



に文部科学大臣表彰を受けるにあたって大きな評価をいただきました。  
今後も学園、地域とのつながりを大事にし、子どもたちの読書活動を盛り上げていきたいと思います。

(高等部・三箇山)

皆さんのが感染対策を徹底してくれたおかげでこのような球技大会を行うことができました。

本当にありがとうございました。

来年度も今年度のような形で球技大会を行ってくれればなと思います。

(球技大会実行委員長3年・中尾日南)

懸命考えて準備したゲームを、新入生たちが楽しそうに取り組んでくれていたこと、2年生や3年生が1年生に積極的に声をかけながら盛り上げてくれたことが一番嬉しかったです。

困難あり、焦りありの新入生歓迎会でしたが、昨年度の新入生歓迎会よりも学年を超えて笑い合い、仲を深めることができます。とても良い新入生歓迎会になつたと思います。

(生徒会長3年・福島瑠璃奈)



ゴールへ

## 中学部 新入生歓迎会

今年もやってきた新入生歓迎会。5月18日(水)に実施しました。今年度も生徒会で、皆が楽しめるゲームや景品の内容を企画しました。当日まで試行錯誤を重ね、説明の簡略化や景品の種類などに悩み、本番を正確に進められるか不安になりました。ですが、前日まで生徒会メンバーの後輩や同期、先生方の協力のもとに、無事当日を迎えることができました。

前回の球技大会で、1人だけでは良いものは作れず色んな人の協力があって良いものが作れるのだと改めて感じました。

実行委員や生徒会、たくさんの先生方が準備をしてくださったり、生徒の方々が準備をしてくださったり、生徒の



中学部生徒会役員



今年は縦割りで8グループを作りました

## 小学部

雨を吹き飛ばした

### 全校演技・小学部運動会

5月21日(土)は、小学部の運動会でした。お天気の判断が難しい状況の中で、開催の方向で決定しましたが、予想以上に雨がふり、雨中での開催となってしまいました。しかしながら、子どもたちの意欲はとても高く、二週間の練習の成果を見事に発揮してくれました。



伝統を引き継いだ男子有志の剣舞

小学部の運動会のメイン種目である全校演技は、鳴子を使った演技です。高学年のパートは、3年ぶりの「よさこいソーラン」。そして低学年から始まり全校で踊る後半部分は、YOASOBIの「群青」です。体育科教員がオリジナルのダンスとして作り上げました。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、午前中を低学年保護者へ、午後を高学年保護者への公開にして2回の全校演技を行いました。どちらも雨の中でのスタートでありながら、終わりを迎える

と雨が上がりました。子どもたちのパワーが雨を遠ざけたようでした。特に、午後の部の発表では、踊り終えた6年生から涙があふれ、見ている保護者、教職員の涙も誘つて感動的な運動会となりました。  
(澄井)



エネルギーあふれる応援合戦



異学年のペアで気持ちをあわせる

きな声で「はい！」と返事をすることができました。

オープニングセレモニーで、児童代表の

あいさつと歓

迎の歌を歌う

と、子どもたち

が楽しみして

いたゲーム大

会となりまし

た。チームごと

に教室を回り、

6年生が企画

したゲームを

楽しめます。例

えば、「フラフープゲームは、輪

になって手を

つなぎ、そのま

まフラフープ

を一周させる

というゲーム

です。異学年で

協力する楽しさを感じ取れ

る時間となり

ました。

(澄井)



縦割りチームでフラフープを楽しむ



元気よく返事をする1年生

定こども園ならではの職員の他に、看護師・臨床発達心理士・管理栄養士と様々な専門スタッフがいます。その他にも保育補助員、事務員、バス運転手、添乗員、調理師、環境整備員など、様々な分野で園児と関わるスタッフが沢山います。

子どもが育つ中で、人も大切な教育の環境のひとつと考えています。幼稚部の子どもたちは、学園の豊かな自然環境に恵まれているだけなく、沢山の人と関わる中で様々な学びを得ています。

今年度も

幼稚部のス

タッフ総勢

314人

80人

余りで、

も

たちが存

分に園生活

を楽しめる

よ

う見守つ

て

いきたい

と思

い

ます。

(渡辺)



運転士さんいつもありがとうございます!

6月6日(月)、縦割り班に「1年生を迎える会」が開催されました。企画運営は6年生。この日から縦割り掃除の仲間入りです。

1年生は、6年生からプレゼントしてもらったメダルを胸につけ、手をつないでもらつて体育館に入場すると、大きな拍手で迎えられました。舞台でチームと名前を紹介されましたが、大

新年度がスタートして3ヶ月が経ち、各クラスそれぞれにのびのびと遊ぶ子どもたちの姿が見られています。

幼稚部には、幼稚園教諭と保育士の2つの資格を持った「保育教諭」という認

認定こども園 幼稚部  
「人」という環境  
子どもたちの育ちを見守る



大切なコミュニケーションタイム



## 小田急線相模大野駅に相模女子大学の副駅名看板を掲出しました

～創立125周年に向け、さらなる地域との連携を目指します～

6月より、小田急線相模大野駅に副駅名看板を掲出しました。

本学は、1900(明治33)年、東京市本郷区龍岡町に日本女学校を設立し、1945(昭和20)年に、校舎、学寮を戦災によって焼失し、翌年の1946(昭和21)年、相模原市南区文京に移転しました。その後、長きにわたり、地域の皆様に支えていただき、教育機関としての役割を果たしながら、2025(令和7)年に創立125周年を迎えます。これで機に、小田急線相模大野駅をご利用の皆様に本学をより身近に感じていただくために、実現したものです。

幼稚部から大学院・大学・短期大学部まで全てを有する相模女子大学の玄関口でもある小田急線相模大野駅に、この度、副駅名を掲出できることを誇りに、今後も長い歴史が続く学園として、さらなる地域との連携を目指します。



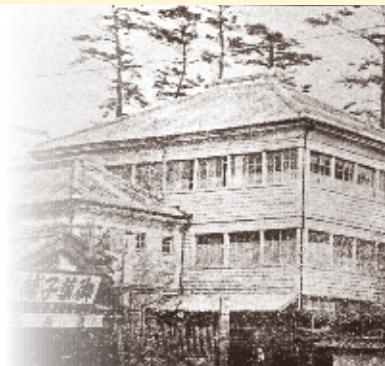
小田急線相模大野駅内 8カ所に設置（イメージ）

## 2025年、相模女子大学は創立125周年を迎えます



# 125th since 1900

2025年、相模女子大学は創立125周年を迎えます。



相模女子大学の歴史は、1900年に西澤之助により日本女学校が設立されたことに始まります。それ以後、建学の精神「高潔善美～固きこころをもって、やさしき行いをせよ～」のもと、我が国の女子教育のパイオニアとして多くの人材を社会に送り出してきました。

110周年時には、大学は「見つめる人になる。見つける人になる。」を教育スローガンに掲げましたが、「Sagami Vision 2020」の提示に合わせて学園全体の教育スローガンとなりました。

このスローガンに込められた思いは、自分たちの生活の足場をしっかりと「見つめ」、そこから新しい社会のあり方を「見つける」人を育てるというものです。建学の精神に高い人間性を希求する教養教育を現代的に表現しております。



## 将来を描きにくい時代に 小早川直子（旧姓 橘） (昭和 63 年 学芸学部 食物学科食物学専攻卒業)



アメリカの友人と（中央本人）

世界各地で混乱が続くこの数年、皆さんのが半年先のことすら見通せない状況に気の重い日々を過ごされていると思います。

私が卒業した時は、バブル時代で男女雇用機会均等法2年目ながらも、女子学生への求人は男性職員の補助に限定されたものが大半の時代でした。

私は男女区別なく働ける場所だったシステム開発者として就職しました。新元号(平成)対応に始まり、消費税に2000年対応、企業や学校のWeb作成、シラバス(時間割)構築などをしていました。2005年に夫の転勤で突然専業主婦になり、アメリカで3年暮らしました。片言の英会話と身振り手振りで現地の方々と交流を深め、自分の時間を楽しむ日々を過ごしました。帰国後の就活では『3年現場を離れた開発者は未経験に等しい』『PCの出来過ぎる事務職は周囲とのバランスが取れない』と言われ八方ふさがり。その時、学生時代に就職対策で取得した秘書資格が功を奏し、内閣府にて幹部職秘書となりました。リアルに目にする有名政治家や公表前の政策内容はまさに未知の世界。当時は自民党から民主党への政権交代と重なり、政治転換の大きうねりを目当たりにして、好奇心を掻き立てられました。

現在は大手証券会社で内部監査部門の役員秘書として勤務

しています。常に変化し続ける金融の世界で、コンプライアンスを遵守という社会の要請に応える仕事は、やりがいがあると共に心労が絶えません。在宅勤務の時間が増えると新たな苦労もあります。

バラ色の未来を夢見られた頃とは異なり、社会は複雑に絡み心に痛みだけです。甥が就職活動を前に『生きる理由がわからないのに、就活する意味がわからない』と言います。人生すぐに答えが出ないものなのに、彼はすぐに結果を求めてしまうようです。私は6年前に癌にもかかりましたが、その後に得られた幸運のほうははるかに大きくて、起きることに無意味なことはありませんでした。あの時〇〇だったならば今はもっと良かったはず。なんてないです。今在ることからあなたは何をしますか?などと気づきました。

気が付けばアラ還世代。人生の支えは、①今ある状態を喜べる／感謝できる、②自慢にできる専門(仕事や趣味)をもつ、③次のステージに進む準備と覚悟を持つことを感じます。

一歩足を前に踏み出しましょう。人生100年時代、私は第3の新しい人生の計画を企てています。皆さんの将来に幸あれと願います。

## ご寄付のお願いとお申込方法について

「マーガレット募金」を以下のとおり実施させていただいております。

ご支援いただきました皆様に対し、心より御礼申し上げます。

今後ともご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

マーガレット募金委員会委員長 竹下 昌之

|           | 令和4年3月末現在    | 令和4年5月末現在    |
|-----------|--------------|--------------|
| マーガレット募金額 | 60,429,773 円 | 62,385,821 円 |

### マーガレット募金

本学園の継続的な発展を目的とし、平成20年度に開設いたしました。  
使途について、「学習活動支援」「キャンパス整備」「教育・研究活動支援」よりご支援先を指定いただくことができ、また、「目的を指定しないご寄付」もお受けしております。

この中でも「学習活動支援」については、「大学・短期大学部」「中学部・高等部」「小学部」「幼稚部」と支援対象をより細かく指定することができます。

皆様からいただきましたご支援は、ご指定の使い道に従って有効に活用させていただいております。



① お振込(郵便局または銀行窓口)  
② 郵送(現金書留)またはご持参  
③ 自動振替での継続

詳細につきましては、大学ホームページ(<https://www.sagami-wu.ac.jp/>)をご覧いただき、下記事務局までお問い合わせください。

- マーガレット募金 お問合せ先 学校法人相模女子大学 学園事務部 経理課  
〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2-1-1 TEL:042-747-9558 FAX:042-749-6500 E-mail:bokin@mail2.sagami-wu.ac.jp
- その他奨学寄付金等のご寄付に関するお問合せ先  
相模女子大学・相模女子大学短期大学部 大学事務部 学術研究支援課 TEL:042-747-9570 FAX:042-743-4916



学校法人 相模女子大学